

平成 27 年度 焼津市自治基本条例 まちづくり市民集会 大ワールドカフェ 感想カード

平成 27 年 12 月 19 日実施

【市民（一般）】

- 今回も皆様の為になり、有意義で良いお話を聴かせて頂いて有難うございました。私は水産加工に従事して 30 年以上働き、去年(H26)定年退職しました。経営者の皆さんは従業員を大事にし、やさしくしていてもらいたいです。やさしさ・大事にする事を忘れている経営者が多いので、そういうことを気をつけてもらいたいです。そうすればもっと焼津も住み良い町になると思います。
- 初めての参加です。次回チャンスがあれば出席して見たい！！
- どこの班の発表もターゲットは若者（13～25 才?）。例えば高校生の模擬議会や駅前・中の再生計画コンテストなど、市内の 3 私立・公立高校生や大学生を「まち」に出すこと、しかけなど、今回のようなワールドカフェを高校生や中学生でやってみてもおもしろいのでは？焼津駅前の活性化のために焼津分校の生徒も出番と居場所作りに参加させて下さい。
- 若い人達と一緒に意見、発言を聞く機会に恵まれ大変参考・勉強になりました。また機会があれば参加させて下さい。
- ワークショップの時間を長く欲しい。
- 皆様のお話を聞き、勉強させて頂きました。又こういう機会を設けて下さい。ありがとうございました。
- 若者が多数参加し、世代間の垣根がなくてよかった。討議時間と発表時間が足りなかった。時間配分の再考を！
- グループでの話し合いはテーマを基本目標の 5 つから選んで話し合えば、より具体的な内容となるのではないかと思います。
- いろいろな意見を聞いて参考になりました。
- 参加できてよかったです。焼津のことを考える場所と時間を共有できてよかったです。若い方々が、いろいろ考えて参加して、話が聞けてよかったです。参加者全員が 1 人 1 人発言できていました。
- 数を重ねて、お互いを知り合うことだと思います。
- ワールドカフェで話し合った人々全員から焼津に対する想いを感じ取ることができました。「対話の場」ではなく「想いの共有の場」だと思います。戸田市でも 2 月に「つながり」をテーマに講演会を行います。戸田と焼津のつながり、これからも大切にしていきたいです。ありがとうございました。
- いろんな人と話が出来、とてもよかった。
- 初めて参加させていただきましたが、若い人達の出席が多くとても感動。これからの焼津が活性化するのではないかと期待致します。先ず駅前シャッター通りをシャッター通りにしないで明るい町づくりを考えたいと思います。
- 市民・行政・議会、若者・大人、地元・移入者・外国人 … 普段ふれられない方々との交流ができた。立場の違いを互いに理解することからはじまる様な気がします。こういう機会は大切ですので知人もさそって次回も来たいと思う。

- 初めて出席させていただきました。更に幅広く、焼津の市民が集う、また意見が建設的になれるよう祈ります。次回も出席させて下さい。

【市民（発表者）】

- 「まちづくり」に対して真剣に考えている市民の方が多くいらっちゃって、自分のまちづくりに対する意識の持ち方が変わりました。また個人的にも是非参加したいと思いました。
- 自分は若者の立場から意見を言う機会を頂きましたが、一番大切なのは、若者“だけ”が楽しいのではなく、若いパワーと経験豊富な大人の方々の知恵を合わせて、誰もがすてきなと思えるまちにすることだなあ、と思います。勉強になりました！本日はありがとうございました！

【学生】

- 多くの方々とお話が出来て良かったです。それぞれ焼津への思いや考えを持っていて、限られた時間でしたが、このような機会を継続的に設けていくことは価値のある事であると思います。ありがとうございました。
- 「町づくり」についてたくさん意見を聞いて、とても勉強になりました。
- 今回このようなイベントに参加できとても良かったです。大人の方の意見やまちをもっと良くしたいと思っている方々のお話を聞いて自分の地元ももっと良くなり私自身ももっと地元を好きになり住み続けたいくなる様な事をアクションとして起こしていきたいと思いました。
- 焼津に住んでいなくても、焼津のことを知れる機会ができてみなさんと考えていくことが出来てとても良かったです。私は、神奈川県相模原市若者地域参加の実行委員に所属しています。いろいろなまちの取り組みを知ることで新しい視野がひろがっていくようなことが分かりました。プレゼンター、司会進行の方お疲れさまでした。有難うございました。
- 若い人たちが、地元へ愛着をもてるような機会をつくるというのがとても印象に残りました。
- 様々な人達のお話をたくさん聞くことが出来て、とても新鮮でおもしろかったです。なので、もう少し時間があればなと思います。
- みんなとの意見交換で、新しい意見や考えを言い合っただuckさんの刺激を貰えました。焼津は海のある素敵な町なので、津波などに負けず改善を繰り返し、町が発展し若者が住み続けたい町をつくり続けて欲しいです。来年の就活は焼津も視野に入れたいと思いました。（吉田遙香）
- 焼津市民の人の本当の声を聞ける良い機会になった。
- 焼津市民の方々、一人一人が焼津について心から考えていることが分かりました。立場も世代もバラバラですが、皆で話せる機会は本当に貴重だと思います。参加して良かったです。後半にもう少しウエイトをおけるともっとよいかなと感じました。想像していたよりもずっと発言しやすく、「若者」を大切に思ってもらえて嬉しかったです。

【議員】

- 今日は色々なお話が聞いてとても勉強になりました。お話をしてみると、皆さん、熱い思いを持っている事がわかり、この思いを形にしていけたらと思います。市民の方々の力を借りながら、住みたい街にする様、自分の立場で頑張っていきます。ありがとうございました。

- ・高校生、大学生の話を聞く事が出来て、参考になった。社会的弱者の意見も聞けるよう、次回に期待します。
- ・若者の意見が聞けて、参考になりました。また様々な立場の方のご意見が出て、今後の検討の貴重な資料にさせていただきます。
- ・今まさに、若者の出番が来ている。若い芽を育てて行きましょう。
- ・「共稼ぎ、子ども育ても大変、子ども支援金も大切だけれど放課後児童クラブで塾的な支援もやってもらいたい。友人の子育ての大変さを見て結婚をためらっている」子育てができる就学・就労時間等、労働環境（雇用条件）がまだまだできていない。安心して結婚・出産・子育てできる施策の大切。小中学生の居場所づくり、物理的だけでなく精神的コーディネーターも必要。
- ・自治基本条例ができたから〇〇が〇〇になった。という、モノ・コト・ヒトが見えたら良いと思いました。（もちろん「議会も〇〇を〇〇にした」がもっと必要ですが）
- ・若い方たちも焼津の将来を考えていることがうれしかった。若者の集まる場所がほしいのでぜひ考えたいと思う。
- ・大変良い時間でした。来年も参加したいです。
- ・若者をテーマにしたたいへん多くの意見が聴けた。まとめの中で具体的にできるものもあるので、この実現に働く、多くの人と共に働くこととしたい。特に若者の意見を取り入れ未来をひらく、駅前の活性化～港～歩く場所、これは声をあげたい。
- ・「未来への意思決定には若者も参画する必要がある」…若者の声→全くその通りである。首長が決定すること、議会で決定していくこと…将来につながる世代を越えていくものは、層参加型で決定していく必要がある。議会も言葉だけのものではなく、強い実行力、決断が必要だ。
- ・まちに興味が無い、やりたいことがない。若者も主人公のまちを造る。 正に大きな課題です。

【協働推進員（市職員）】

- ・多くの方が参加して、様々な話をして「焼津」のことを真剣に考えているのが意外だった。ただ、何人が自発的に参加しているのか？動員されている人が多いのか？疑問に思います。
- ・若者が活躍できる場作りや若者の活動への支援が重要だと感じた。
- ・若者が地域に愛着がある中で、若者の意見が入っていなかった。若者の出番と居場所が必要になる。若者がやりたいイベントをやる環境（ラジコン大会など）を法的規制などをクリアして、開催すれば、地元のみならず都会からも人が集まるかもという意見がありました。全国の空き商店の空き店舗を利用しての、1ヶ月アンテナショップも魅力的に感じました。
- ・世代・職業・性別など関係なく、このように多勢の方々が集う会に参加できたこと、若者、企業、NPOの方々の思い（ホンネ）が聞くことができたことは、大変貴重な時間となりました。
- ・「知ると理解が進む」 いろいろな立場の方からの焼津への思いを伺うことができ、とても良かったです。「地道な活動を続けていくことが、実は一番の近道である」ということが印象的でした。居場所一箱ものではない、「人」の居場所づくりである縁をこれから大切にしたいです。
- ・年齢から職業が違う人と接することができて、いい経験になりました。
- ・若い人や女性が住みやすい市にするには、それぞれの個人が生きやすい環境を整えることが大

切なんだと感じました。ハード面ではなく、心の通う仕組みや、自分の望む働き方を実現する仕組みが必要だと感じました。また、市民ではない周囲の方々、外国に向けての魅力を発信し、行ってみたいと思ってもらうことが大事と思いました。おいしいものがたくさんあるので、活用したいと思いました。

- 「若者」がキーワードとなっていたと思います。大学で学ぶため、一旦は外に出ても就職のため戻ってきてくれるよう、小さいころから地元への愛着をもたせることが大切なのだと思います。活発な意見が出され、楽しく話し合いができました。—市民として、よりよい、住みやすい「焼津」になっていくことを望んでいます。
- 活発で自由な意見が多数でいました。練製品の工場直販、見学、作りたての物を食べられる様な観光ルートは良いですね。
- いろいろな立場、年齢の方と意見をかわせる機会は良かったと思います。
- 若者がしっかりしている→感動しました。 ・若者もすごく色々まちづくりを考えている。
・若者の意見を反映すれば、ずっと住み続けたいと思う街になると思いました。
- 参加者が市職員、議員が多いので、もっと市民の参加者を増やした方がいい。
- 住み続けたい焼津とするために、まちの魅力を発信する。それには、まず動いてみる。地道でも続けていくことが大切だと感じました。
- かまぼこ屋の服部さんの「幸せの定義は1人1人違う。それぞれの幸せのを見つけ方が違うので、みんながいろんなことにチャレンジできる環境があるといい」という言葉が印象に残りました。かまぼこ屋さんの話だけでも、夢や未来が感じられました。これから、焼津の老若男女がそれぞれの夢を実現していったら、魅力的なまちになると思いました。
- 話し合う時間が少ないのが残念でした。とてもいい会議でした。高校生をもっと呼んでもいいと思った。
- 今日一番、印象に残っている言葉は若者の「出番」や「居場所」。行政がどうやって若者を巻きこむかが大事だと思いました。今回、普段出会わない人達と短時間で、住み続けたい焼津について様々な意見を聞く事ができて良かったです。

【市職員】

- いろいろな年代の方がいらして話ができました。しかし、全てのメンバーの意見が聴けなかった感じもしました。時間のマネジメントが大切です。(重要です) この縁を大切に…
- 市民・若者の意見を聞くことができ、大変勉強になりました。
- 「若者の意見が重要」と思う。一方、自分が若かった時、こんな真剣にまちづくりのことは考えたことはなかったと思いました。本当に大切なのは、あまり力まず進められればいいのかと感じた。カフェといいながら、最初にやった説明の若者のインパクトが大きく、本音がでにくくまじめなカフェになったのかと思う。
- 議員の皆さんが出席されているのはすごく良いことです(参加している方から「一度話してみたかった」との声がありました)。 ・参加者のうち職員の割合が多い(一般参加の方から「市職員としか話をしていない」という声もあった) ・若者とともにまちづくりを行っていくサポートを市民協働課を中心に行っていただきたいと思います。

- ・ワールドカフェの時間が短くなってしまったことは残念でしたが、いろいろな人の意見や思いを聞いてとても良かったです。はの字さんから試食品があればもっと良かったと思います(笑)
- ・高校生、大学生の言葉が心強かった→若者は主人公になれる。彼らの意見を取り入れる。
 - ・それぞれの分野・立場で焼津を元気にしようとしていることに感動。1人で心の中で思っているだけではなかなか前に進まない。外に一步踏み出せば同じ思いの人がみつかり縁ができる。それがつながれば、焼津を住みつづけたいまちにするための大きな力になる。
- ・話題提供(発表)の前にグループ内で自己紹介をした方が良い。
 - ・市民スピーカーの前にアイスブレイクを!
 - ・ずっと聴くだけではつまらない。聴く→グループワーク→聴く
 - ・時間配分をしっかりと(後半のグループワークも事前に制限時間が示されていない)
 - ・「30秒で発表」といったら30秒で切ること。ファシリテーターが時間管理をしていない。
 - ・市議ほぼ全員が参加しているのはすごいこと。
 - ・若者を育てる支援や活動を市がバックアップできないか?
 - ・協働推進員を参加させたのは非常に良いこと。市の職員の意識向上につながる。

【実行委員】

- ・若者の意見を多く聞くことができ良い機会でした。

若者は、一度は焼津を離れても良いから、その際、焼津の良さを判って貰い、焼津へ帰って来て欲しい。その為に、焼津に居つづけている大人が、帰り易い焼津にするよう努力しないとイケないと強く思った。
- ・住み続けたい焼津のキーワードは「若者」そして足もとにある焼津の魅力の発信ということを学びました。
- ・若者が多い町、住み良い町は、将来的に結婚、子育てと人口増へつながります。他市でやらない様な、できない様な取組みを検討して下さい。
- ・若者がしっかりした考えを持ち、行動している事がたのもしく感じました。

【属性わからず(無記名)】

- ・焼津市には外国人も多いのに、ワールドカフェには誰ひとり参加していない。職員の参加が半数をしめていたようだが、外国人も共に生活している焼津市なら参加を働きかけるべき。現状では外国人と共生できることはなかなか難しいと普段まわりで生活している外国人を見ていて思う。
 - ・ワールドカフェとして話し合う時間が短くものたりなさを感じた。話題があちこちに広がりすぎ(盛り込みすぎ)た気がするので、もうちょっとテーマをしぼった方が時間がおさなかつたかも。市民スピーカーの話の中では①の若者の話に興味を抱いた人が多かった反面、③の女性の立場の話はワールドカフェの中でも全くでなかったことから、人口を増やす=若者のあり方としてとらえている人が多いということの表れだと思う。その為には、いかに焼津が素晴らしい街なのか住人が認識してそれを広めていく必要性を感じる(ネガティブキャンペーンはやめて!) 若者についてのあり方はまだまだ意見交換の必要(需要)がありそうですね。今回はこのテーマでしぼった方がよかったのかなあ?
- ・ざっくばらんな雰囲気でお話しやすいかったです。始まる前は、市役所ということで市民や議員さんから何を言われるかビクビクしてました。

- 若者の意見が聞けてよかったです。若者の力を発揮してもらうために各公民館に青少年の居場所～いつでも自由に行って使える場所と仲間が必要と思います。雇用の場とあそび・交流の場、ハード&ソフト両方必要ですね。
- これからのまちづくりは若者をいかに取りこめるかだと思う。若者が集まる場所をいかにつくるか？人は楽しいところに集まる。
- 「焼津」について考える機会は大切です。高校生の発表をきき、意見を持つ若者の活躍の場所を作り、“やる気”を失わせることのないよう大人が尽力したいと思いました。地元の若者が自らの意思でワールドカフェに参加してほしいですね。
- わかものまち・やいづ 土肥くんの発表に対しての反応がすごいなあと思いました。彼が言っていることを土肥くんたちにやってもらうのを待つのではなく、賛同した人たちがそれぞれにできることをやっていくという意識が持てるといいと思いました。若者からのアクションを待たず、若者の発言できる場を提供していきたいと思いました。
- もっと交流時間を増やしたプログラムにした方が意味が生まれると思いました。参加できてよかったです。